

平成17年2月8日

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄採取量と細胞数について

拝啓

時下、皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月17日に開催された採取責任医師会議席上にて、「採取計画量の採取を行い、細胞数のカウントを行ったところ細胞数が少ない場合の対応はどのようにしたらよいか。」とのご質問がありました。

本委員会としては、原則として採取計画量を遵守していただきたいと考えております。

細胞数が少ない場合には現場での判断になってしまいますが、本委員会としてはその場合の「許容範囲」を設定することはできないと考えています。

また、 1.5×10^8 個以下の細胞数での移植の現状について、別途調査し関係者に報告したいと考えています。

なお、骨髄採取量と細胞数及び生着状況については、1997年末に見解を発表し、これに基づいて現在の骨髄採取量が決定されております。資料として添付いたしますので、ご参照ください。

何卒ご確認の程お願い申し上げます。

敬具

ご質問、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

ドナーコーディネート部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第二ビル 7F
TEL:03-5280-2200